

大阪大学生物工学国際交流センター 教員公募

概 要	<p>生物工学国際交流センター(ICBiotech)は、バイオテクノロジー分野で国際的視野に立った教育と研究を行い、タイ・マヒドン大学内に設立した生物工学国際交流センター・東南アジア共同研究拠点とともに周辺諸国との学术交流を推進し、アジアでのバイオテクノロジー研究のハブとなることを目指しています。</p> <p>生物工学国際交流センターでは、微生物学の工学的利用を目指す研究を主導し、当該分野にもとづく教育に従事できる柔軟な思考で研究の大きな発展をもたらす人材を求めます。微生物を主とした生物の持つ機能などの可能性を開拓し、持続可能な社会構築へ貢献することが期待されます。採用された方には、研究に加え、学部・大学院教育を担当していただきます。また、東南アジアを中心とし、現地での教育に真摯に従事し、共同研究を開拓して展開し、さらに、国際的な産学連携を積極的に推進できることが求められます。研究分野や方針に関する問い合わせは歓迎します。</p>
1.職名	教授
2.募集人数	1名
3.所属	大阪大学 生物工学国際交流センター
4.勤務場所	吹田キャンパス(大阪府吹田市山田丘 2-1)
5.専門分野	<p>工学的利用を目指す微生物学</p> <p>「微生物利用」に関連する研究分野の例; 応用微生物学、分子微生物学、有用微生物学、工業微生物学、醸造工学、生物工学、生物化学工学など</p> <p>但し、病原微生物学を除く</p>
6.職務内容	大学院・学部学生に対する教育・研究指導、および国際交流。
7.応募資格	<p>[必須条件]</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 博士の学位を有すること (2) 上記専門分野における十分な研究実績があること (3) 本学工学研究科生命先端工学専攻生物工学コース、工学部応用自然科学科 応用生物工学科目において講義、演習および実験を担当できること (4) 海外、特に東南アジアにおける現地での教育研究に実績を持ち、かつ主体的に従事し、さらに、国際的な産学連携を積極的に推進できること (5) 日本人学生の派遣と海外学生の受入れプログラムを立案し、遂行できること (6) 国際共同研究の実績を持ち、その研究を発展させ、成果を社会に発信できること (7) 業務遂行に支障のないレベルの日本語の能力があること <p>[望ましい条件]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学部学生、及び大学院生の指導経験を有すること ・特に、大学院においては英語で指導でき、また、学部では日本語で授業が可能であること
8.採用日	2019年12月1日、もしくはそれ以降のできるだけ早い日
9.契約期間	期間の定めなし

10.試用期間	6 か月
11.勤務形態	「6. 国立大学法人大阪大学教職員の労働時間、休日及び休暇等に関する規程」による https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/information/joho/kitei_shugyou.html ※専門業務型裁量労働制適用(みなし労働時間:1日8時間)
12.給与及び手当	「10. 国立大学法人大阪大学教職員給与規程」による https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/information/joho/kitei_shugyou.html
13.社会保険等	国家公務員共済組合、雇用保険、労働者災害補償保険に加入
14.応募書類	<p>以下の書類原本とともに、それらの PDF 書類を保存した電子媒体(CD、USB メモリ等)を郵送してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 履歴書(写真貼付)※以下のサイトより様式をダウンロードしてお使いください。 https://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/employ/academic_staff/index.html ② 研究業績リスト ([1]原著学術論文、[2]解説・総説、[3]著書等、[4]特許、[5]国内外の学会発表、[6]その他、に分類し、論文については全著者名・題目・雑誌名・巻号・発行年・ページを明記、国際共著論文については下線を引いて示す) ③ 主要原著論文 5 編の別刷(コピー可、4 部) ④ 所属学会・国際会議等の社会における活動状況 ⑤ 国際および国内の共同研究状況 ⑥ 受賞リスト(名称、授与団体、授賞対象(業、論文名等)、受賞年) ⑦ 科学研究補助金などの外部資金獲得状況(代表・分担の別の明記) ⑧ これまでの研究(主要論文との関連明記)、教育活動(担当授業を含む、さらに英語での授業も明記)、国際交流(授業や共同研究の実績を含む)の概要(A4 用紙各 1 枚以内) ⑨ 着任後の研究と教育に対する抱負(A4 用紙各 1 枚程度) ⑩ 応募者について参考意見をいただける方 3 名の氏名・所属・連絡先(内 1 名は、海外の方) ⑪ 英語能力に関する資料(TOEFL、TOEIC、英検等の成績証明書のコピー、あるいは海外滞在や英語を使った業務の経験の説明等) <p>※ なお、応募書類による個人情報等は、採用者の選考及び採用後の人事等の手続きを行う目的で利用するものであり、第三者に開示いたしません。</p> <p>※ 応募書類については返却いたしません。</p>

15.送付及び 問い合わせ先	<p>(郵送先)</p> <p>〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1</p> <p>大阪大学生物工学国際交流センター 教授 藤山和仁宛</p> <p>※ 封筒の表に、「生物工学国際交流センター教授応募書類在中」と朱書きすること。</p> <p>※ 書留郵便で送付すること。</p> <p><担当者></p> <p>大阪大学生物工学国際交流センター 教授 藤山 和仁</p> <p>電話番号 06-6879-7453 E-Mail fujiyama@icb.osaka-u.ac.jp</p>
16.応募期限	(日本時間にて)2019年7月15日 必着
17.選考方法	<p>書類審査を行ったのち、面接審査を行います。面接審査の案内は書類審査通過者にも応募期限から2週間以内に行います。</p> <p>※ 面接のための旅費及び宿泊費等は応募者の負担とします。海外在住の方には、オンラインでの面接を行う可能性があります。</p> <p>※ 書類審査不合格の連絡はいたしませんのでご了承ください。</p>
18.その他	<p>上記の他の労働条件については国立大学法人大阪大学教職員就業規則等によります。https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/information/joho/kitei_shugyou.html</p> <p>大阪大学では教員・研究員の公募において、意欲のある女性研究者の積極的な応募を歓迎しています。http://www.danjo.osaka-u.ac.jp</p>
19.募集者	国立大学法人大阪大学